

がん化学療法指示書

登録番号 292

作成日 2021/9/8

レジメン名	ニボルマブ+イピリムマブ療法 (悪性黒色腫)
診療科・対象疾患	(外)悪性黒色腫
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	80mg/body	day1
ヤーボイ	イピリムマブ	3mg/kg	day1

	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
							day1	day21		
治療内容	注射		Rp1 生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●								
			Rp2 癌 オブジーボ(ニボルマブ)	80mg	30分	点滴静注メイン	●								
				生理食塩液	100mL										
			Rp3 生理食塩液	100mL	30分	経過観察用	●								
			Rp4 癌 ヤーボイ(イピリムマブ)	3mg/kg	90分	点滴静注メイン	●								
				生理食塩液	100mL										
				総量100mLにする											
			Rp5 生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用	●								
その他必要薬剤															
総投与時間	Day1: 2時間45分														
血管外漏出リスク	オブジーボ(ニボルマブ): 非壊死性抗がん剤 ヤーボイ(イピリムマブ): 非壊死性抗がん剤														
投与時の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> オブジーボ(ニボルマブ)、ヤーボイ(イピリムマブ)はフィルター付きルート要 オブジーボ(ニボルマブ)投与完了後、ヤーボイ(イピリムマブ)まで30分以上間隔をあける。 														
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)あるいはヤーボイ(イピリムマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠 ニボルマブ+イピリムマブ療法を4コース実施後、ニボルマブ単剤療法(2週毎or4週毎)の維持療法を行う。														